

第23回サイコロロジー研究会

主催：日本レオロジー学会 サイコロロジー研究会

日時：2020年3月6日（金） 13:30～17:15

場所：DIC株式会社 本社2F 大会議室

（正面入口に入って右手の階段で2Fに上り、右手の喫茶コーナー脇の通路を奥に進んで下さい）

住所：〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20 ディーアイシービル

アクセス：JR東京駅 八重洲中央口より徒歩5分 または 東京メトロ日本橋駅 B1出口より徒歩2分

定員：約80名（基本は先着順ですが、場合によっては懇親会に参加する方を優先させていただきます）

プログラム：

13:30-14:30

1. レオロジー、トライボロジーによる食品食感、布の手触りの数値化

（アントンパール・ジャパン） 梶田 康仁 様

近年、化粧品や繊維、食品分野などでは、製品の優位性を評価・可視化するうえで、感触の定量化が重要視されてきている。評価手法として、物質の流動、変形を対象とするレオロジー測定が幅広く活用されているが、最近では摩擦や潤滑を対象とするトライボロジー測定も注目を集めてきている。今回の講演では、レオロジー測定とトライボロジー測定により、それぞれどのような感触が定量化できるのか、飲料の食感や布の手触りを例にとり、事例を紹介する。

14:35～15:35

2. 高分子構造制御による化粧品基剤の使用感触コントロール

～レオロジーを活用した天然物に習う高分子設計～

（資生堂） 曾我部 敦 様

「しっとり」「さっぱり」など既存の感触に変わる新たなテクスチャー軸として、「リッチでコクがある」感触の創出を目指し、客観的評価法であるレオロジー測定による検討を行った。化粧品原料を「法線応力差」および「粘弾性比」を用いてマッピングを行い、天然高分子であるヒアルロン酸が特徴的な物性値を示すことを確認した。その分子構造を参考とし、さらに塗布中～塗布後の感触にも優れた素材を目指し、精密合成法を用いて新奇な水溶性高分子を開発した。

15:35-15:55 20分休憩

15:55-17:15

3. 五感に訴える新規なポリウレタン材料の開発

（三井化学） 山崎 聡 様

ポリウレタンは、ポリオールおよびポリイソシアネートの重付加反応により製造されており、主に、ソファーおよびモビリティのクッションならびに家電、建築物の断熱材などのフォームや塗料、接着剤、シーリング、エラストマー、弾性繊維および視力矯正用レンズの形態など、幅広い用途に使用されている。当社は、二酸化炭素の削減に代表される地球環境保護ニーズに対して、既存原料では達成できない新規なポリイソシアネートであるフォルティモ®およびスタビオ®を工業化した。これらの開発経緯と特長について、概説する。

懇親会（予定）：

17:30-19:00

場所：PRONTO 八重洲日本橋三丁目店

住所：東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル1F TEL：03-3242-3760

※ 参加人数によっては、懇親会の場所が変更になる可能性があります（参加費は変更ありません）。

参加費：

研究会参加費：3,000 円（学生 1,000 円）

懇親会参加費：3,000 円（学生 2,000 円）

問い合わせ・申し込み先：資生堂グローバルイノベーションセンター アドバンスリサーチセンター 那須 昭夫
〒220-0011 横浜市西区高島 1-2-11

TEL: 070-3859-1905, E-mail: akio.nasu@to.shiseido.co.jp

研究会会場



DIC 株式会社 本社 2F
大会議室 No.2



懇親会会場



PRONTO
八重洲日本橋三丁目店
(DIC から徒歩約 5 分です)